IMAGE PICKUP DEVICE AND ELECTRONIC CAMERA

Publication number: JP2001094887

Publication date: 2001-04-06

Inventor: SHIBAZAKI KIYOSHIGE Applicant: NIPPON KOGAKU KK

Classification:

- international: *H04N5/335; H01L27/148;* H04N5/335; H01L27/148;

(IPC1-7): H04N5/335; H01L27/148

- European:

Application number: JP19990267166 19990921 **Priority number(s):** JP19990267166 19990921

Report a data error here

Abstract of JP2001094887

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the generation of uneven dark currents caused by the local heating of an image pickup(IP) device. SOLUTION: The IP device constituted by mounting plural photoelectric conversion elements 1, plural charge transfer circuits 2, 3 and an amplifier 4 on the same semiconductor substrate 20 is provided with an amplifier power supply control circuit 21 for controlling the power supply of the amplifier 4 in accordance with a control signal 11 applied from the external to change the bias current of the amplifier 4 by the circuit 21. Thereby the power supply of the amplifier 4, i.e., the bias current, can be changed from the outside of the IP device and a normal bias current can be supplied to the amplifier 4 only when it is required. Consequently local heating from the amplifier 4 can be minimized, the increment of dark currents due to the heating of the elements 1 arranged around the amplifier 4 can be prevented and the generation of uneven dark currents in the IP images can be prevented. Since the bias current of the amplifier 4 can be reduced when the operation of the amplifier 4 is unnecessary, the power consumption of the amplifier 4 can be suppressed.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

Family list

2 family members for: JP2001094887

Derived from 2 applications

Back to JP2001094

IMAGE PICKUP DEVICE AND ELECTRONIC CAMERA

รักษอกรังกร SHIBAZAKI KIYOSHIGE 🔋 🛮 🕸 🕸 🐧 💸กรับ NIPPON KOGAKU KK

Publication info: JP2001094887 A - 2001-04-06

Image-capturing device and electronic camera

Publication info: US2005062865 A1 - 2005-03-24

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開發号 特開2001-94887 (P2001-94887A)

(43)公開日 平成13年4月6日(2001.4.6)

(51) Int-CL ²		識別記号	FΙ	ラーヤユード(参考)
H 0 4 N	5/335		H 0 4 N 5/335	Z 4M118
H01L	27/148		HO1L 27/14	B 50024

審査請求 未請求 請求項の数10 〇L (全 8 頁)

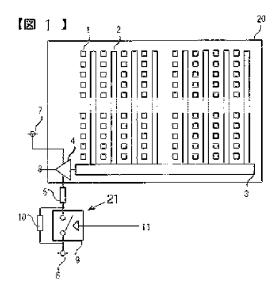
(21)出顯番号	特顯平11-267166	(71)出願人 000004112
		株式会社ニコン
(22)出願日	平成11年9月21日(1999.9.21)	東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号
		(72)発明者 芝崎 清茂
		東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 株
		式会社ニコン内
		(74)代理人 100084412
		弁理士 永井 冬紀
		F ターム(参考) 4M118 AA05 AB01 BA13 CA09 1004
		0009 FA06
		50024 AAG1 BAD1 CA10 FAG1 GA11
		GA45 HA05

(54)【発明の名称】 振像装置および電子カメラ

(57)【要約】

【課題】 - 緩像装置の局所的な発熱に超困する暗電流ムラの発生を防止する。

【解決手段】 複数の光電変換素子」と電荷転送回路 2、3と増幅器4とを同一の半導体基板20上に設置し た操像装置に、外部から与えられる制御信号11にした がって増幅器4の電源を制御する増幅器電源制御回路2 1を備え、増幅器電源制御回路21によって増幅器4の バイアス電流を変化させる。これにより、縁像装置の外 部から増幅器4の電源すなわちバイアス電流を変えると とができ、必要なときだけ増幅器4に通常のバイアス電 | 癒を供給することができる。したがって、増幅器4から| の局所的な発熱を最少限に抑制することができ、増幅器 |周辺の光電変換素子1を匍熱して暗電流が増加するのを| 防止でき、緩像画像における暗電流ムラの発生を防止す ることができる。その上、増幅器4を動作させる必要が ないときは増幅器4のバイアス電流を低減することがで きるので、増幅器4の電力消費を抑制することができ **る**。



(2)

特關2001-94887

【特許請求の範囲】

【請求項1】二次元状に配置される複数の光電変換素子

前記各光電変換素子から電荷を転送する電荷転送回路

前記電荷転送回路の電荷転送方向終端に接続され、電荷 を電圧に変換して増幅する増幅器とを同一の半導体基板 上に設置した撮像装置において、

外部から与えられる制御信号にしたがって前記増幅器の 電源を制御する増幅器電源制御回路を備えることを特徽 10 とする緩像装置。

【謂求項2】謂求項1に記載の鏝像装置において. 前記増幅器電源制御回路は、前記制御信号により前記増 幅器のバイアス電流を変化させることを特徴とする緩像 装置。

【讀求項3】讀求項1または請求項2に記載の操像装置 において、

前記電荷製送回路は、CCD(Charge Coupled Devic e) を用いて前記増幅器へ電荷を転送する回路であるこ とを特徴とする操像装置。

【讀求項4】請求項1または請求項2に記載の操像装置 において、

前記電荷転送回路は、XYアドレス走査により電荷を前 記増幅器へ読み出す回路であることを特徴とする操像装

【請求項5】請求項1~4のいずれかの項に記載の鏝像 装置を備えることを特徴とする電子カメラ。

【請求項6】請求項5に記載の電子カメラにおいて、 不要電荷の排出時と前記光電変換素子からの電荷読み出 **電流を偽給させ それ以外の時に前記制御信号により前** 記増幅器のバイアス電流を低減させることを特徴とする 電子カメラ。

【請求項7】請求項6に記載の電子カメラにおいて、 露光時間が所定時間以下の露光時に前記制御信号により 前記増幅器に通常のバイアス電流を供給させることを特 数とする電子カメラ。

【諄求項8】二次元状に配置される複数の光電変換素子

局所的な発熱源となる発熱部品とを同一の半導体基板上 40 -に設置する緩像装置であって、

外部から与えられる制御信号にしたがって前記発熱部品 の電源を制御する発熱部品電源制御回路を備えることを 特徴とする緩像装置。

【請求項9】請求項8に記載の鏝像装置において、 前記発熱部品はA/D変換器であることを特徴とする鑷 後装置.

【讀求項10】請求項8に記載の緩像装置において、 前記発熱部品は信号処理プロセッサーであることを特徴 とする縁像装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、固体緩像素子を用 いた操像装置とその鏝像装置を備えた電子カメラに関す る。

[0002]

【従来の技術】二次元状に配列されたフォトダイオード などの光電変換素子によって光強度分布に応じた電荷に 変換し、蓄積電荷を各光電変換素子からCCD(Charge - Coupled Device)などの電荷転送素子を介してフロー ティング・ディフュージョンアンプへ転送し、蓄積電荷 を電圧に変換するとともに増幅して出力する緩像装置が 知られている。

【0003】図5は従来の撮像装置の構成を示す。半導

体基板(シリコン基板)20上には複数の光電変換素子 1が二次元状に配列されている。これらの光電変換素子 1には列ごとに電荷転送素子2が配置され、蓄積電荷を | 列方向に転送している。列方向の各電荷転送素子2の電 荷転送方向終端には行方向の電荷転送素子3が接続さ 20 れ、列方向に転送された電荷をさらに行方向に転送して いる。この行方向の電荷転送素子3の電荷転送方向終端 にはフローティング・ディフュージョンアンプ4が接続 され、電荷を電圧に変換して増幅し、出力鑷子8から出

【0004】との明細書では、電荷転送素子の転送方向 終端に接続され、転送された電荷を電圧に変換して増幅 するプローティング・ディフュージョンアンプを単に「 出力アンプーと呼ぶことにする。

【0005】出力アンプ4は正電源?に接続されるとと し時に前記制御信号により前記増幅器に通鴬のバイアス 30 もに、抵抗器5を介して負電源6に接続され、正電源7 と貧電源6との間に印加される電源電圧に応じたバイア ス電流が流れる。抵抗器5はバイアス電流調整用鑑抗で ある。なお、光電変換素子1および電荷転送素子2,3 へも電源が供給されるが、それらの電源回路の図示を省 略する。

[0006]

力している。

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述し た従来の鏝像装置では、光電変換素子1、電荷転送素子 2、3 および出力アンブ4が同一の半導体基板20上に - 設けられているので、図6に示すように発熱の大きな出 カアンブ4の熱が時間経過とともに周囲の光電変換素子 1へ伝わっていき、発熱源の出力アンブ4に近い光電変 換素子!ほど加熱されて大きな暗電流が発生し、図7に 示すように画像信号の黒レベルを押し上げて発熱源の近 傍にいわゆる" 暗電流ムラ"を発生するという問題があ

【0007】本発明の目的は、緩像装置の局所的な発熱 に起因する暗電流ムラの発生を防止することにある。

180001

- 【課題を解決するための手段】発明の一実施の形態の構

(3)

3 成を示す図 1 および図 2 に対応づけて本発明を説明する ^{*}

- (1) 請求項1の発明は、二次元状に配置される復数の光電変換素子1と、各光電変換素子1から電荷を転送する電荷転送回路2,3と、電荷転送回路2,3の電荷転送方向終端に接続され、電荷を電圧に変換して増幅する増幅器4とを同一の半導体基板20上に設置した緩像装置に適用される。そして、請求項1の発明は、外部から与えられる制御信号11にしたがって増幅器4の電源を制御する増幅器運源制御回路21を備えることにより、上記目的を達成する。
- (2) 請求項2の録像装置は、増幅器電源制御回路2 1によって、制御信号11により増幅器4のバイアス電 確を変化させるようにしたものである。
- (3) 請求項3の緑像装置は、電荷転送回路2、3 を、CCDを用いて増幅器4へ電荷を転送する回路としたものである。
- (4) 請求項4の線像装置は、電荷転送回路2、3 を、XYアドレス走査により電荷を増幅器4へ読み出す 回路としたものである。
- (5) 請求項5の発明は、請求項1~4のいずれかの項に記載の緩像装置を備えた電子カメラである。
- (6) 請求項6の電子カメラは、不要電荷の排出時と 光電変換素子1からの電荷読み出し時に制御信号11に より増幅器4に通常のバイアス電流を供給させ、それ以 外の時に制御信号11により増幅器4のバイアス電流を 低減させるようにしたものである。
- (?) 請求項?の電子カメラは、露光時間が所定時間 以下の露光時に制御信号11により増幅器4に通常のバイアス電流を供給させるようにしたものである。
- (8) 請求項8の発明は、二次元状に配置される複数の光電変換素子と、局所的な発熱源となる発熱部品とを同一の半導体基板上に設置する緩像装置であって、外部から与えられる制御信号にしたがって発熱部品の電源を制御する発熱部品電源制御回路を備えることにより、上記目的を達成する。
- (9) 請求項9の機像装置の発熱部品はA/D変換器である。
- (10) 請求項10の撮像装置の発熱部品は信号処理 プロセッサーである。
- 【0009】上述した課題を解決するための手段の項では、説明を分かりやすくするために一実施の形態の図を 用いたが、これにより本発明が一実施の形態に限定され るものではない。

[00101

【発明の実施の形態】図1および図2に一実施の形態の いき 構成を示す。なお、図5に示す従来の操像装置の構成機 非智 器と同様な機器に対しては同一の符号を付して説明す 9% る。半導体基板(シリコン基板)20上にフォトトラン カフ ジスターなどの複数の光電変換素子1を二次元状に配列 50 る。

- し、列ごとにCCDなどの電荷転送素子2を配置して蓄 精電荷を列方向に転送する。また、列方向の各電荷転送 素子2の転送方向終端に行方向の電荷転送素子3を接続 し、列方向の各電荷転送素子2により転送された電荷を 行方向に転送する。さらに、行方向の電荷転送素子3の 転送方向終端にプローティング・ディブュージョンアン ブ、すなわち出力アンブ4を接続し、電荷を電圧に変換 して増幅し、出力端子8から外部の画像処理回路などへ 出力する。
- 10 【0011】上述した従来の縁像装置では、光電変換素 子1および電荷転送素子2、3と同一の半導体基板20 上に設置される出力アンブ4が局所的な発熱顔とな り、"暗電流ムラ"の発生原因となっていた。
 - 【0012】そこで、この実施の形態では、局所的な発熱源である出力アンブ4の電源を制御し、出力アンブ4を動作させる必要がないときに、出力アンブ4のバイアス電流を抑制して発熱を最小限に抑えるアンブ電源制御回路21を撮像装置に付加し、暗電流ムラの発生を防止する。
- 20 【0013】図1はアンプ電源制御回路21を負電源6 側に設けた例を示し、図2はアンプ電源制御回路21を 正電源7側に設けた例を示す。アンプ電源制御回路21 は、制御信号11により開閉するスイッチ素子9を抵抗 器10の並列回路から構成される。制御信号11は緑像 装置の外部から供給される信号であり、スイッチ素子9 を開閉して出力アンブ4のバイアス電流を変える。抵抗 器10は出力アンブ4を動作させる必要がないときのバイアス電流を調整するための抵抗器であり、抵抗器5は 出力アンブ4を動作させる必要があるときの通常のバイ アス電流を調整するための抵抗器である。
- 【0014】電荷転送素子2,3により電荷を出力アンプ4へ転送し、出力アンプ4で電荷電圧変換と増幅を行う。電荷転送時でには、制御信号11によりスイッチ素子9を開路し、抵抗器10を短絡して抵抗器5により設定された通常のバイアス電流1を出力アンブ4に供給する。この電荷転送時は出力アンブ4を動作させる必要があるときであり。電荷転送素子2,3により光電変換素子1の線像電荷を出力アンブ4へ転送し、出力アンブ4から外部へ出力する線像電荷の転送の他に、次のような40不要電荷の転送が含まれる。すなわち、長時間露光前
 - と、長時間露光後の電荷読み出し前に行われる不要電荷の排出処理において、不要電荷の一部を電荷転送素子 2、3により出力アンブ4へ転送し、出力アンブ4を介して外部へ排出する不要電荷の転送が含まれる。
 - 【0015】一方、出力アンブ4を動作させる必要がないとき、つまり操像電荷または不要電荷を転送しない。 非電荷転送時"には、制御信号11によりスイッチ素子 9を開踏し、抵抗器5と直列に抵抗器10を挿入して出力アンブ4のバイアス電流をその抑制値!。まで低減する

【0016】なお、図1および図2において、光電変換。 素子1あよび電荷転送素子2、3へも電源が供給される が、それらの電源回路の図示を省略する。また、貧電源 6をグランドラインまたはりVラインとしてもよい。

5

【0017】ここで、非電荷転送時のバイアス電流!「 を調整するための抵抗器10の抵抗値R10の決定方法を 説明する。例えば、出力アンブ4の非電荷転送時のバイ アス電流! を電荷転送時の通常のバイアス電流!の1 / 1)にする場合には、抵抗器10の抵抗値R10を次の。 ように設定すればよい。

【数1】!=E/(R5+2A), !' = E / (R5 + R10 + ZA), 1' / 1 = 1 / 10.

 \therefore R10=9*(R5+ZA)

ととで、2Aは出力アンブ4の電源回路のインビーダン ス、R5は抵抗器5の抵抗値、Bは正電源7と負電源6 との間に印加される電源電圧である。

【0018】なお、この実施の形態では非電荷転送時の **出力アンブ4のバイアス電流!」を電荷転送時の通常の** イアス電流!」はこの実施の形態に限定されず、少なく とも露光時間の長いシャッター速度が設定された場合で も、出力アンブ4の発熱により暗電流ムラを発生しない。 バイアス電流であればよい。出力アンブ4の非電荷転送。 時のバイアス電流 () をりとすることもでき、その場合。 は抵抗器10の抵抗値R16を無限大」つまり抵抗器10 を削除すればよい。

【0019】また、アンプ電源制御回路21を半導体基 板20上に設置してもよい。この場合は、半導体基板2 ○上のアンプ電源制御回路21に正電源7,負電源6お 30 -よび制御信号11を供給する。

【0020】図3は、一実施の形態の撮像装置を備えた 電子カメラの、露光時間が所定時間より長い(シャッタ ー速度が所定値より遅い)ときの緩像動作を示すタイム チャートである。時刻も1において、電子カメラのメイ ンスイッチ(不図示)がオンされると、カメラが作動を 開始する。時刻も2で、レリーズボタン(不図示)の半 - 押し時にオンする半押しスイッチ(不図示)がオンし、 測光回路(不図示)により測光が行われ、測光結果に基 でいてシャッター速度、すなわち露光時間が設定され、 る。また、同時にAF回路(不図示)により撮影レンズ (不図示)の焦点調節状態が検出され、焦点検出結果に 基づいて撮影レンズの焦点調節が行われる。

【0021】時刻t3において、レリーズボタンが押し 込まれてレリーズスイッチ (不図示) がオンすると、鏝 像装置の出力アンプ4に正電源7と負電源6を供給する とともに、光電変換素子1および電荷転送素子2、3に 電源(不図示)を供給する。このとき同時に制御信号! 1によりスイッチ素子9を閉踏し、出力アンブ4に電荷 転送時の通鴬のバイアス電流!を供給する。

【0022】シャッターがレリーズされてから実際にシ ャッターが開き始めるまでの時刻も4~も5において電 荷転送素子2、3の転送動作を行い、光電変換素子1お よび電荷転送素子2,3上にある不要電荷を、電荷転送 素子3と平行に配設されるオーバープロードレイン(不 図示) へ緋出する。とのとき、不要電荷を完全にオーバ ーフロードレインへ排出することができないため、制御 信号11によりスイッチ素子9を閉路し、出力アンブ4 に通常のバイアス電流!を供給して動作させ、オーバー 10 フロードレインへ排出できない一部の不要電荷を出力ア ンプ4を介して出力端子8から緩像装置の外部へ排出す

【0023】不要電前の排出後の時刻も7において、制 御信号11によりスイッチ素子9を開路し、出力アンプ 4のバイアス電流をその抑制値!」まで低減して露光時 の出力アンブ4の発熱を避ける。なお、不要電荷の排出 処理が終了する時刻 t 5 において直ちに出力アンブ4の バイアス電流を低減するようにしてもよい。

【0024】一方、時刻も5で不要電荷の緋出が完了し バイアス電流】の1/10としたが、非電荷転送時のバー20 てから一定時間後の時刻16において、シャッターを関 き始める。シャッターは時刻も8において完全に開放状 懲となるが、その後しばらくして露光が開始されるの。 で、出力アンブ4のバイアス電流を低減する時刻は少な くともシャッターが完全に開放される時刻t8より早い。 時刻とする。翠光中は光電変換素子1で光強度に応じた 電荷整満を行う。

> 【0025】||羅光が終了したら時刻も9でシャッターを 閉じるが、時刻も10でシャッターが完全に閉じられて から直ちに蓄積電荷の該み出しを開始するのではなく、 - 長時間の露光後はもう一度電荷転送素子2,3に蓄積さ れた不要電荷の排出を行う。これは、露光時間が長いほ と露光中に電荷転送素子2、3に蓄積される不要電荷の 置が多くなり、無視できないほどの量になるため、蓄積 電荷の該み出し処理に先立って不要電荷の鲱出処理を行 う。露光中に蓄積された不要電荷は、露光前の排出処理 と同様に、不要電荷をオーバーフロードレインへ排出す。 るとともに、排出できない一部の不要電荷を出力アンプ 4を介して出力端子8から操像装置の外部へ排出する。 すなわち、時刻も10で制御信号11によりスイッチ素 40 子9を閉路し、出力アンブ4に通常のバイアス電流!を 供給して動作させ、時刻も11で電荷転送素子2、3を 転送動作させて排出処理を開始する。

> 【0026】時刻t12で不要電荷の排出処理が終了す。 ると、時刻t13から電荷転送素子2、3による蓄積電 **満すなわち縁像電荷の転送動作を開始する。なお、露光** 中の不要電荷を排出した後にすぐに蓄積電荷の読み出し 処理を開始するので、制御信号11によりスイッチ素子 9を開谿したままにし、出力アンブ4に電荷転送時の通 鴬のバイアス電流!を添し続ける。蓄積電荷の読み出し 50 - 処理では、露光中に光電変換素子!に蓄積された電荷を

電荷転送素子2、3を介して出力アンブ4へ導き、出力。 アンブ4で転送電荷を順次電圧に変換して増幅し、出力 端子8から外部の画像処理回路(不図示)へ出力する。

7

【0027】時刻t14で蓄積電荷の読み出し処理が終 了すると、出力アンプ4の正電源7と負電源6.光電変 換素子1、電荷転送素子2、3などの操像装置への電源 の供給を停止するとともに、制御信号11によりスイッ チ素子9を開路する。

【0028】とのように、二次元状に配置される複数の 光電変換素子」と、各光電変換素子」から電荷を転送す 10 -る電荷転送素子2,3と、電荷転送素子2,3の電荷転 送方向終端に接続され、電荷を電圧に変換して増幅する。 出力アンブ4とを同一の半導体基板20上に設置した緩。 | 像装置において、外部から与えられる訓御信号 | 1 にし たがって出力アンブ4の電源を制御するアンブ電源制御 |回路21を備え、アンプ電源制御回路21によって、制 御信号21に応じて出力アンブ4のバイアス電流を変え るようにした。これにより、必要なときだけ出力アンプ 4に電源、すなわち通常のバイアス電流!を供給するこ とができる。具体的には、不要電荷の排出時および鏝像 20 -電荷の読み出し時、つまり電荷転送素子2、3により出 |力アンプ4へ電荷を転送し、出力アンプ4で電荷電圧変| 換と増幅を行う必要がある時のみ、出力アンブ4へ通常 のバイアス電流手を供給し、それ以外の時は通常のバイ アス電流(よりも低い抑制値)」にバイアス電流を低減。 する。したがって、出力アンプ4からの局所的な発熱を 最少限に抑制することができ、出力アンブ4周辺の光電 変換素子!を飼熱して暗電流が増加するのを防止でき、 緩像画像における暗電流ムラの発生を防止することがで きる。その上、出力アンプ4を動作させる必要がないと「 きは出力アンブ4のバイアス電流を低減することができ るので、電子カメラのバッテリー消費を抑制することが、 できる。

【0029】図4は、一実施の形態の撮像装置を備えた。 電子カメラの、霧光時間が所定時間以下で短い(シャッ ター速度が所定値以下で速い)ときの操像動作を示すタ イムチャートである。露光時間が所定値以下で短いとき は、不要電荷の蓄積置が少ないのでその緋出処理が不要 となり、シャッターレリーズから電荷読み出し終了まで、 中、出力アンプ4に通鴬のバイアス電流!を癒し続けて も出力アンブ4の発熱量は少なく、出力アンブ4の周辺 の光電変換素子」を加熱して暗電流を増加させることは ない。

【0030】メインスイッチのオンからシャッターレリ ーズまでの動作は、図3に示す露光時間が長い場合の動 作と同様である。時刻t22において、レリーズボタン が押し込まれてレリーズスイッチ(不図示)がオンする と、操像装置の出力アンプ4に正電源?と負電源6を供 給するとともに、光電変換素子1および電荷転送素子

2、3に電源(不図示)を供給する。このとき同時に制 御信号11によりスイッチ素子9を閉路し、出力アンプ 4に通常のバイアス電流 1を供給する。

【0031】その後、時刻も23~も24でシャッター を開放して露光。すなわち光電変換素子1により光強度 に応じた電荷蓄積を行う。露光終了後にシャッターが閉 じられると、時刻 t 24で直ちに蓄積電前の該み出し処 理を開始する。電荷転送素子2、3で電荷転送動作を行 い、怒光中に光電変換素子」に蓄積された電荷を電荷転 送素子2、3を介して出力アンブ4へ響き、出力アンブ 4 で転送電荷を順次電圧に変換して増幅し、出力端子8 から外部の画像処理回路(不図示)へ出力する。

【0032】時刻t25で蓄積電荷の読み出し処理が終 了すると、出力アンブ4の正電源7と負電源6.光電変 換素子1、電荷転送素子2、3などの操像装置への電源 の供給を停止するとともに、制御信号11によりスイッ チ素子9を関略する。

【0033】とのように、鑿光時間が所定時間以下の短 時間鑿光時には、制御信号11により出力アンブ4に通 「鴬のバイアス電流!を供給させるようにした。露光時間」 が短い場合は出力アンブ4に通常のバイアス電流 [を流 しても、短時間であるから出力アンプ4の発熱量は少な く、出力アンブ4の周辺の光電変換素子1を加熱して暗 |電流ムラを発生させることはない。むしろ、露光中に出 カアンブ4に通常のバイアス電流!が供給されているの で、出力アンプ4は露光中からすでに安定状態にあり、 露光後に直ちに撮像電荷を安定に読み出すことができ、 総合的に緩像時間を短縮することができる。

【0034】ここで、出力アンブ4のバイアス電流を低 減するか否かを判断するための露光時間の上記所定時間 は、光電変換素子1および電荷転送素子2、3の数置と 配置、出力アンブ4の配置などにより、個々の操像装置 に対して最適な値を決定すればよい。

【0035】なお、上述した一実施の形態では、電荷転 送素子を用いて光電変換素子の電荷を読み出す形式の緩 像装置を例に上げて説明したが、例えばMOS型操像装 置のように、XYアドレス走査により光電変換素子の電 荷を読み出す形式の鏝像装置に対しても、同一墓板上に 設置した出力アンブにより読み出した電荷を電圧に変換 の一連の緩像時間が短い。したがって、一連の操像期間 40 し、増幅する形式の緩像装置であれば本発明を適用する ことができ、上述した一実施の形態と同様な効果が得ら

> 【0036】また、上述した一実施の形態では、単一の 出力アンプ4を用いた例を示したが、複数の光電変換素 子を複数のグループに分け、各グループごとに電荷転送 素子を用いて蓄積電荷の読み出しを行い、グループごと の電荷転送素子の転送方向終端にそれぞれ出力アンプを 設置して、電荷電圧の変換と増幅を行う緩像装置に対し でも本発明を適用することができ、上述した一実態の形 50 驚と同様な効果を得ることができる。

特關2001-94887

9

【0037】上述した一実施の形態では光電変換素子の「 暗電流を増加させる発熱源として出力アンブを例に上げ て説明したが、発熱源は出力アンブに限定されない。例 えば、CMOS型の鏝像装置では、光電変換素子と同一。 の半導体基板上に、アンプ、A/D変換器、あるいは信 号処理プロセッサーなどを搭載することがある。アンブ は上述したように局所的な発熱源となるが、A/D変換。 器や信号処理プロセッサーも高速で駆動すればするほど 発熱量が多くなり、アンプと同様な局所的な発熱源とな る。したがって、光電変換素子と同一の半導体基板上に「10」 A/D変換器や信号処理プロセッサーなどの局所的な発 熱源を搭載する形式の鏝像装置に対しても本発明を適用! することができる。その場合には、A/D変換器や信号 処理プロセッサーの電源を制御し、動作させる必要があ る時のみ電源を供給したり、動作不要時にバイアス電流 を低減することによって、発熱を抑制することができ、 上述した一実施の形態と同様な効果を得ることができ

【0038】上述した一実施の形態では本発明の操像装 置を装備した電子カメラを例に上げて説明したが、本発「20」部品からの局所的な発熱を最少限に抑制することがで 明の操像装置は電子カメラ以外の装置にも装備すること ができる。

[0039]

【発明の効果】(1) 以上説明したように本発明の緩 **後装置によれば、複数の光電変換素子と電荷転送回路と** 増帽器とを同一の半導体基板上に設置した緩像装置に、 外部から与えられる制御信号にしたがって増幅器の電源 を制御する増幅器電源制御回路を備え、増幅器電源制御 回路によって増幅器のバイアス電流を変化させるように したので、緩像装置の外部から増幅器の電源すなわちバー30-イアス電流を変えることができ、必要なときだけ増幅器。 に通常のバイアス電流を供給することができる。これに「 より、増幅器からの局所的な発熱を最少限に抑制すると とができ、増幅器周辺の光電変換素子を加熱して暗電流。 が増加するのを防止でき、操像画像における暗電流ムラ の発生を防止することができる。その上、増幅器を動作。 させる必要がないときは増幅器のバイアス電流を低減す。 ることができるので、増幅器の電力消費を抑制すること。 ができる。

(2) また、本発明の電子カメラによれば、不要電荷 49 1 光電変換素子 の排出時と光電変換素子からの電荷読み出し時に、緩像・ 装置の外部から制御信号により増幅器に通常のバイアス 電流を供給させ、それ以外の時に制御信号により増幅器。 のバイアス電流を低減させるようにしたので、増幅器かっ ちの局所的な発熱を最少限に抑制することができ、増幅 器周辺の光電変換素子を加熱して暗電流が増加するのを 防止でき、緩像画像における暗電流ムラの発生を防止す ることができる。その上、増幅器を動作させる必要がな。 いときは増幅器のバイアス電流を低減することができる。 ので、電子カメラのバッテリー消費を抑制することがで 50 20 半導体基板

きる。

(3) さらに、本発明の電子カメラによれば、露光時 間が所定時間以下の露光時には、制御信号により増幅器 に通常のバイアス電流を供給させるようにした。露光時 間が短い場合は増幅器に通常のバイアス電流を流して も、短時間であるから増幅器の発熱量は少なく、増幅器 周辺の光電変換素子を加熱して暗電流ムラを発生させる ことはない。むしろ、露光中に増幅器に通鴬のバイアス 電流が供給されているので、増幅器は露光中からすでに 安定状態にあり、露光後に直ちに鏝像電荷を安定に読み 出すことができ、総合的に撮像時間を短縮することがで きる。

(4) さらにまた、本発明の鏝像装置によれば、複数 の光電変換素子と局所的な発熱源となる発熱部品とを同 一の半導体基板上に設置する緩像装置に対し、操像装置 の外部から制御信号により発熱部品の電源を制御する発 熱部品電源制御回路を備えたので、発熱部品を動作させ る必要がある時のみ電源を供給したり、動作不要時にバ イアス電流を低減することができる。これにより、発熱 き、発熱部品周辺の光電変換素子を加熱して暗電流が増 加するのを防止でき、緩像画像における暗電流ムラの発 生を防止することができる。その上、発熱部品を動作さ せる必要がないときは発熱部品のバイアス電流を低減す

ることができるので、発熱部品の電力消費を抑制するこ

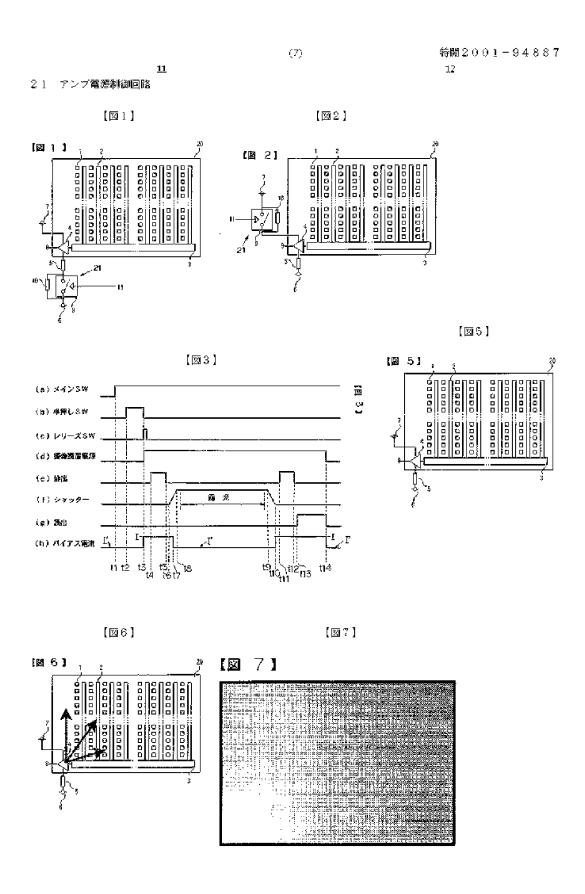
【図面の簡単な説明】

とができる。

- 【図1】 一実施の形態の構成を示す図である。
- 【図2】 一実施の形態の構成を示す図である。
- 【図3】 露光時間が長いときの緩像動作を示すタイム チャートである。
 - 【図4】 露光時間が短いときの鏝像動作を示すタイム チャートである。
 - 【図5】 従来の鏝像装置の構成を示す図である。
 - 【図6】 従来の鏝像装置の問題点を説明するための図 である。
 - 【図7】 従来の鏝像装置による暗電流ムラを示す図で ある。

【符号の説明】

- 2、3 電葡転送素子
- 4 出力アンプ
- 5 氮抗器
- 6 貧電源
- 7 正常源
- 8 出力繼子
- 9 スイッチ素子
- 10 抵抗器
- 1 1 制御信号



(8)

特開2001-94887

[24]

